



平成27年6月24日

各 位

会 社 名 旭精機工業株式会社
代表者名 取締役社長 山口 央
(コード番号 6111 名証第二部)
問合せ先 取締役 神谷 真二
(TEL. 0561-52-5300)

新技術(生産性向上システム)開発のお知らせ

当社はこのたび下記のとおり当社製ばね機械用の生産性向上システムを開発いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 新技術の名称

当社製ばね機械用生産性向上システム

2. 新システムの概要

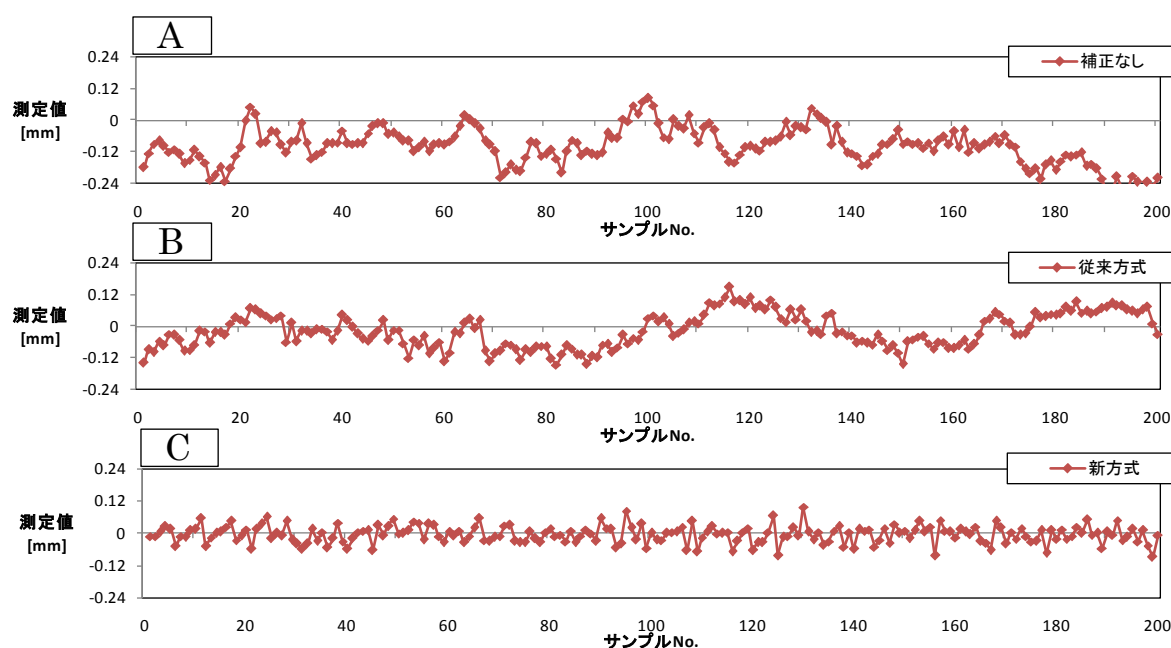
圧縮コイルばねの生産においては、材料である線材の性質や温度などにより、自由長（開放長さ）の分布が収束し難く（下図A）、従ってばねの性能にもばらつきが発生することが多くなります。そのため、従来当社では、ばね成形時に個々の自由長を計測し、その結果をもとに連続して生産するばねを補正する、「フィードバック補正方式」を採用してきました（下図B）。

更に近年当社では、より高い精度の生産管理を目指して新たな生産管理システムの開発を行ってまいりましたが、今般新システムの採用により、ばねの品質の収束を飛躍的に向上させることに成功いたしました（下図C）。

このシステムは、「自己回帰モデル」によって自由長の変異を予測して補正を行うものであり、国立大学法人名古屋工業大学との共同研究によって開発を行いました。従来のばね自由長の収束、ひいてはばねの性能の安定を格段に向上させるものであり、当社のばね機械の可能性を一気に広げるものと期待されております。

当社はこの新方式を現在特許出願中でございます。

なお、来る7月15日から18日まで東京ビッグサイトで開催されるMF-TOKYO 2015において、当社は当社製ばね機械 iCF-26にこの新システムを搭載して、発表させて頂く予定といたしております。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



以上